

地域コミュニティと大学

林 英輔

麗澤大学国際経済学部

NPO-KIU

話の流れ

- 1 . 本題への導入部として、入学式の柏市長・本田氏の挨拶を引用
- 2 . 学校の開放化
- 3 . 現在のコミュニティースクール構想
- 4 . 学校と地域の共生を目指して
- 5 . 再び地域における大学の役割
- 6 . インターネット時代の学校図書館の課題
- 7 . その先にあるもの
- 8 . 終わりに．まとめ

今年の入学式での 柏市・本田市長の挨拶

新入生が柏市民となることへの歓迎

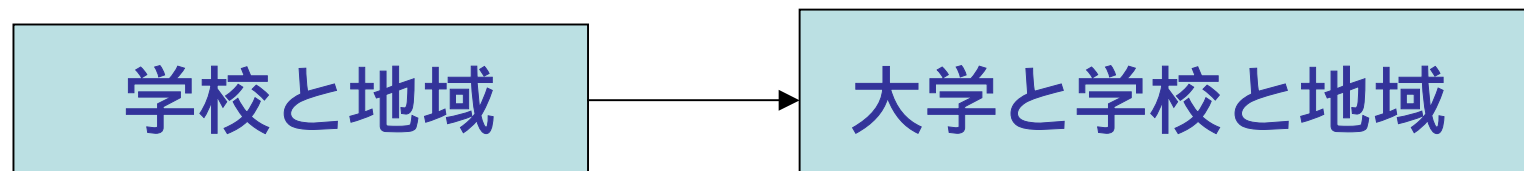
麗澤大学の柏市への貢献の例として、柏インター
ネットユニオン（kiu）の活動を賞賛

地域にとって大学って、何だろう？

大学本来の役割：教育と研究

地域への貢献：教育、文化、社会、産業活動へ

kiuとは。柏市学校教育ネットワーク



大学生の地域貢献活動の報道例

東京都多摩地区の例

- 「学術・文化・産業ネットワーク多磨」の「学生ボランティア」活動
- 340人の学生が小中学校のパソコン授業支援
学外実習2単位

千葉県浦安市に対する明海大学の学生ボランティア活動支援

- 学校情報教育、福祉活動への支援
柏市のKIU活動（本日紹介）

大学地域における大学の役割

大学は地域の一部である

施設、文教環境を形成

住民、青年住民の増加

社会、文化、教育、教養（大学教育 生涯学習）

役割：

地域経済へ貢献
地域文化へ貢献
地域教育へ貢献

学校と地域

学校と地域の問題を再考する背景

「開かれた学校」論

最近の学力低下問題の議論

街づくり、街おこし

学校と地域の共生
地域の教育力
家庭の教育力

開かれた学校

コミュニティースクール論：

学校を地域社会改造の中心機関としてとらえ、子どもや大人を地域社会活動の参画させながら、学校と地域社会の緊密な相互関係を図ろうという理論 欧米では大恐慌後の疲弊した都市社会の混乱の中で、新しい社会秩序の建設に向けて、教育の立場から、社会計画に参画し、活動を展開しようとした。

日本では、第2次世界大戦後の社会状況の中で導入された。

開かれた学校

- 「開かれた学校」の提言
臨時教育審議会第三次答申(昭和62年4月)

中央教育審議会第一次答申(平成8年7月)

中央教育審議会第三次答申(平成10年9月)

学校開放の例

千葉県館山市立神守小学校

館山市は地理的不利地域、
自治体は地域情報化に積極的、教育にも熱心

自律性の高い地域インターネットの活動が活発、持続
学校教育活動先進地域、スモールスクール教育、学力推進
学校,etc.

豊かな自然：風光明媚、観光リゾート、山海の幸
昔は、安房郡一体は里見氏の領地、南総里見八犬伝の舞
台



麗澤大学は柏市にある。

「ラストワンマイル克服」調査研究実証実験候補地は館山市

実験地域は平砂浦地区と神守地区

神守小学校は神守部落にある。

以前、合併廃校が検討された小規模校

実証実験地域と神守小学校の位置

Copyright1999 INCREMENT P CORP.



館山市立神守（かなまり）小学校全景



私が訪れた日は、CAUJ 京都シンポジウム生憎の雨天であった。

PC教室の放課後



本校の接続と17台のPC等設備は、CAUA「首都圏インフラネット基盤整備補助事業」による。

PC教室の放課後



二人の子供がそれぞれ先生の助けを借りて、PCを使っていた。

地域・保護者の願い

学校・家庭・地域が一体となり、情操豊かな児童の育成をねざし、積極的に活動

学校の教育目標

新しい時代を創造し、生きる基本を身につけた子どもの育成

願いや目標についての共通理解

教育・子育てに対する共通理解

活動のための組織作り

地域。家庭。学校が一体となった教育活動

地域家庭主体の活動

連携活動

学校主体の活動

学校開放

明治7年開校

昭和49年100周年記念

昭和50年代 中学校閉校、スモールスクール振興

平成14年 新校舎竣工（部屋ごと防犯管理、時間外でも

部屋単位で出入り可能な構造を実現）

地域イントラネットワーク基盤整備事業により、

PC17台、インターネット接続整備

校内LAN構築

平成15年度 連携活動（パソコンクラブ「花みずき」、

神守探訪、チャレンジャー輪車、etc.）

各部屋が、地域住民によって放課後に利用可

コミュニティースクール構想

- 金子郁容氏他(平成13年12月:岩波書店)
- わが国の教育の閉塞的な状況からの脱却のため
- 教育の情報化(ITの導入)を進めるため
- ボランティア活動を背景にした開かれた学校、自律的学校を目指す

地域と学校の共生を目指して

地域 コミュニティー 知域(?)

地域の教育力、家庭の教育力の回復を目指す

労働人口の都市集中化 核家族化 母親の社会進

出 世代進行 地域コミュニティのコミュニ
ケーション力の弱体化と家庭の教育力の弱体化

コミュニティの教育力の弱体化

ネットワークはコミュニケーション回復の強力な
ツールとなりうるか？ yes！

学校側から：

学校の地域に対する説明責任 情報発信力の強化

地域と学校の共生を目指して

- 教育の情報化の進行

'90年代からの潮流

児童生徒の情報活用能力の養成・強化

(情報学習の強化)

IT活用による教科学習の強化

柏市では、どの学校でも総合学習や情報学習が日常的に行われていて、その意味では、先進校・後進校の区別は一見なくなっている。

中原小(梅津先生の話)、八小(荒木先生の研究)の例

地域と学校の共生を目指して

ネットワークによる学校と家庭の交流

Kiuの活動：

学校ネットワークの構築、運用への支援

学校の情報教育やIT活用教育への支援

Kiuの活動は大学側からみると大学の地域支援（貢献）活動、学生教育の場と機会

未だ多くの課題：

教育コンテンツの確保

情報収集、編集、発信の活動の一層の拡大

教員のIT活用能力の養成強化

学校ITシステムの運用への支援

Kiuにおける学生の活動

特徴： 地域ネットワーク・ボランティア活動に

学生が参加し、活動の担い手。

これが、大学教育活動。

主な活動：

ネットデイ活動

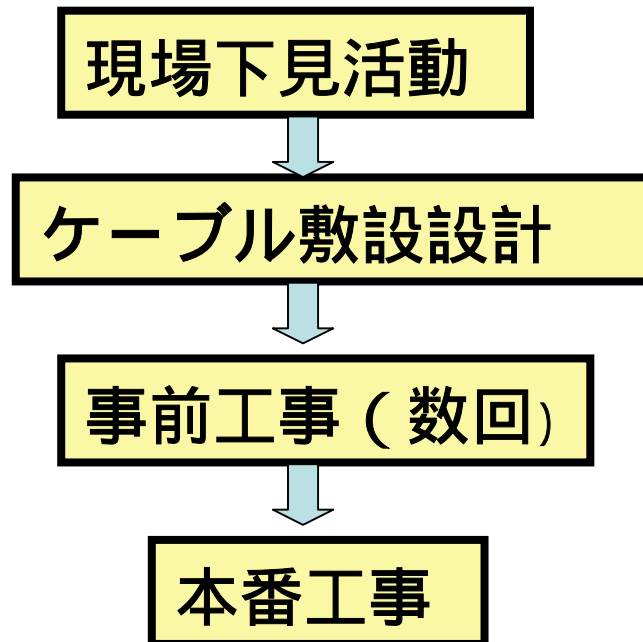
S L A 活動：教育現場での教育の情報化

の支援活動

Kiuの枠組みに入らない地域の学校支援

紹介する活動光景 1

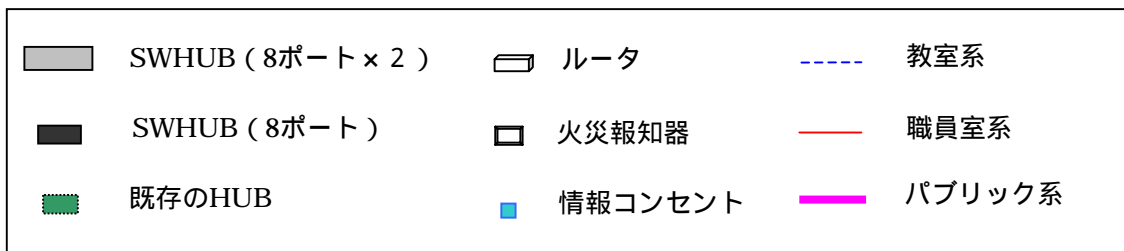
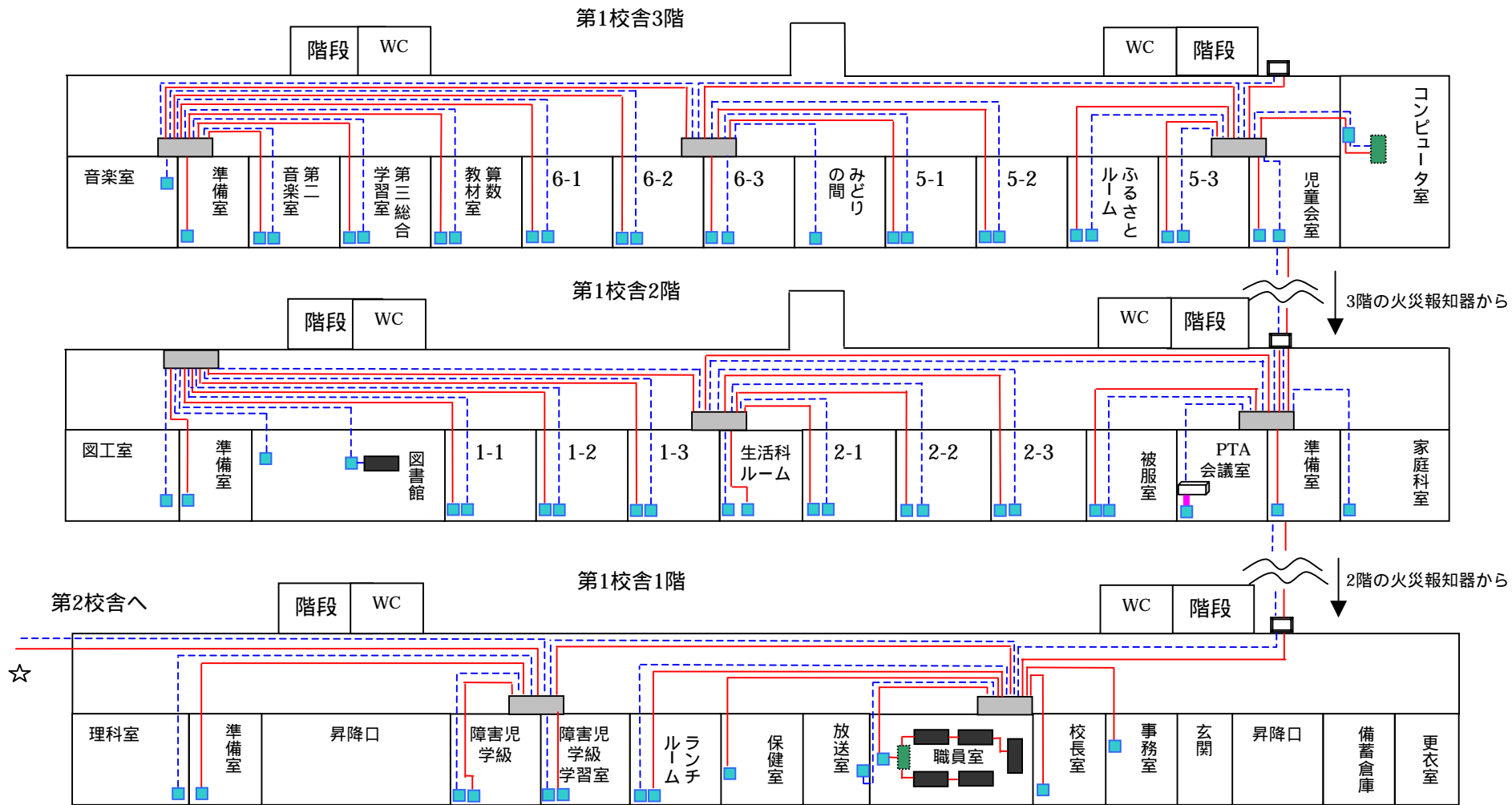
ネットデイ活動:



実績：柏市と沼南町の小中学学校30数校で

ネットデイを行った。

ネットデイ参加者：学生、KIU会員、学校教員、父兄、大学教員・職員、大学卒業生、



柏第七小学校
第1校舎全体配線図
 作成者：佐藤 圭輔

柏市立七小ネットデイ・開始式と本部



開会式

本部スタッフ



柏市立七小ネットデイ通線工事ー1



UTPケーブルの束の敷設準備

廊下の天井裏を通線・末端部の引き出し



柏市立七小ネットデイ通線工事ー 2



廊下の天井裏を通線・末端部の引き出し

末端部の引き出して、教室内へ伸ばす



柏市立七小ネットデイ通線工事ー3



天井裏通線後は空けた蓋を閉める

ハブ位置でのケーブルの取り出し



柏市立七小ネットデイ通線工事－４



火災報知器用通線管を利用した縦系通線
通線ワイヤーを使って

廊下天井裏通線の様子



柏市立七小ネットデイ通線工事ー5



天井裏通線風景

職員室へのケーブル引き込み



柏市立七小ネットデイ通線工事ー6



教室内の配線工事

職員室内の配線工事



柏市立七小ネットデイ・ケーブル成端講習会



受講者はこの学校の先生たち

講師なった学生の講習指導の様子



柏市立七小ネットデイ・ネットワーク講習会



インターネット利用の説明

受講者の本校先生たちと助手の学生達



柏市立七小ネットデイ・工事閉会式



校長先生

リーダーの学生

CAUA京都シンポジウム

紹介する活動光景 2

S L A 活動：教育現場での教育の情報化
の支援活動

校内LAN構築後のネットワーク運用支援と教育情報化（情報教育授業）支援

白井市情報教育支援事業

教員へのIT講習、webの作成、運用技術相談

SLA事業 土南部小の場合



授業実習のアシスタントは
本校の先輩

ソフトウェアのインストール



白井市情報教育支援事業



電子メール講習会

電子メール講習会



再び地域における大学の役割

- 地域の学校支援
- 地域の生涯学習支援
- 地域の行政支援
- 学生の教育の場としての地域の位置付け
地域貢献活動の教育プログラムの整備
授業カリキュラム上での位置づけ

インターネット時代の学校図書館

教育の情報化進行の中で学校図書館のIT化は相対的に低速

人（子供も含めて）の知能、知識の形成に「本」のもつ役割は依然として重要

例：幼児の絵本、児童の読書力と知能、知識の形成

一方、図書からの情報収集、情報活用は相対的に弱体化？

インターネット時代の学校図書館

司書教員の役割の拡大（新解釈か）

- 情報活用能力の養成の指導者
- デジタル情報 + 図書情報

学校図書館図書のネットワーク検索機能の整備
と学校図書館間ネットワークの整備

その先にあるもの

地域図書館、
全国的図書館と地域中心図書館

ミュージアム

ギャラリー

文化施設

終わりに

大学と地域の関係から考え始め、学校と地域の共生の必要性と課題を議論し、インターネット時代の大学と学校教育の接点として、地域における教育の情報化に関して、大学の学校支援の効果と可能性を議論し、再び、地域における大学の役割に戻り、更に、地域の教育の要素として、インターネット時代の学校図書館の課題を議論し、更に、その先にありものも視野に入れてみては？という議論展開を行った。